



「比和自然科学博物館だより」として、新情報や収蔵展示資料の紹介などをしていきます。紹介した展示資料が館内のどこにあるのか、探してみると楽しいですよ！

※展示標本と写真の個体は同じではない場合がありますので、ご了承ください。

今月の推し虫

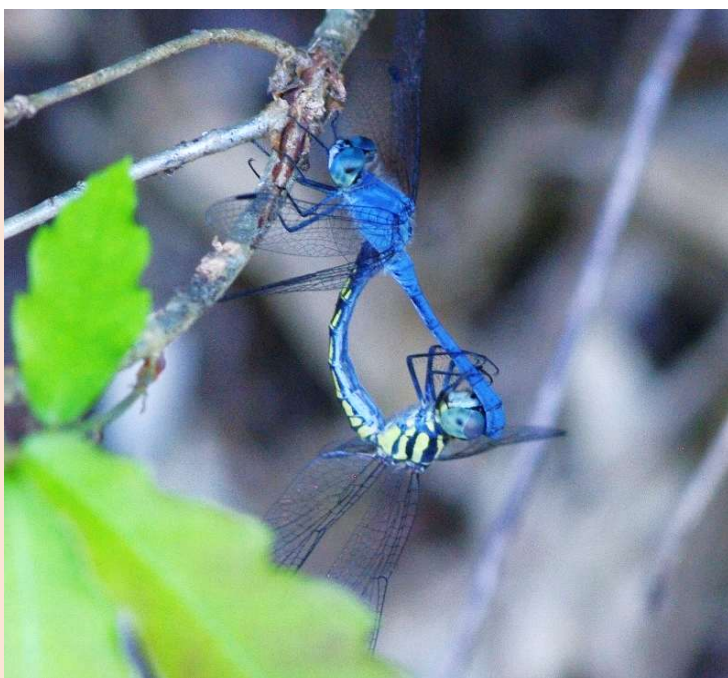
和名：ナニワトンボ

学名：*Sympetrum gracile*

アカトンボの仲間ですが、成熟したオスは青くなります。いわば「青いアカトンボ」という、少し変わった存在です。アカトンボの仲間には、成熟したオスが赤く色づく種類が多く、その「赤」にも鮮やかな赤、赤褐色、朱色などさまざまな色合いがあります。赤以外では黄色や青色になる種類もあり、アカトンボだからといって必ず赤くなるわけではありません。

羽化したばかりのアカトンボは、黄色と黒の縞模様をもつものが多く、成熟すると赤などに色づきます。メスでは、オスほど色づかないこともよくあります。

ナニワトンボの名は、「浪速」、つまり大阪で見つかったことに由来します。主に近畿以西の本州に分布し、広島県内では南部の林に囲まれた溜池で見られます。秋、溜池の水が落とされると、メスは飛びながら、干上がった岸の地面に産卵します。



【解説：秋山美文（比和自然科学博物館客員研究員）】

